

日本共産党松江市委員会機関紙

新しい松江

発行 日本共産党松江市委員会・松江市袖師町3-6 電話24-2456

平和の声を松江から 物価高から生活まもる 6月議会論戦スタート

参院選 日本共産党に期待します

戦争か平和かで騒ぐときが突然やってくると思いきいもしなかった。今、テレビでウクライナの惨状をみるたびに心が痛みます。

でもそれはよそごとではありません。かつて日本は満州事変、日中戦争、アジア太平洋戦争と、第二次世界大戦の中、15年も侵略をすすめ、アジアの人々にどれだけ被害を与え、悲しい思いをさせてきたか忘れてはならないと思うのです。

最後はアメリカの原爆によって私たちも被害者となり、戦争が終わった



子どもたちに戦争体験を語る西尾さん

戦争はだめ 憲法まもれの声を選挙で広げて

原水爆禁止国民協議会代表理事

西尾 幸子 さん

6月15日、松江市議会6月定例会が開会しました。

今議会では、新型コロナウイルス対策など総額計22億4100万円の2022年度一般会計補正予算案2議案、条例改定など31議案を含む52件が提案されました。

一般質問は6月20日から22日に行われ、共産党市議団は、22日に両市議が一般質問にたちました。

たちばなふみ市議は、①戦争を起させないために憲法9条を守り生かす政治、②物価高騰から市民の暮らしと営業を守る施策、③子どもによりそう子育て世帯の支援、④男女の賃金格差是正、⑤危険性が増す原子力発電、の5項目について市長の政治姿勢を質しました。

舟木けんじ市議は、①加齢性難聴者への支援、②生活困窮者への支援の2項目について質問しました。

(※次号より紹介します)

なお、提案された議案の内、住民税非課税世帯、低所得の子育て世帯、住居を喪失した人等への給付事業(令和4年度に対象が拡大された)の、

総額7億1800万円の補正予算案と、松江保健所の体制強化に伴う市職員定数条例改正案の2議案が開会日同日に原案通り可決されました。

残る補正予算案は、PCR検査の追加、4回目のワクチン接種、保健所職員増などのコロナ対策のほか、公共施設の省エネ100%導入を調査検討する再エネ地産地消モデル構築調査事業費、中海スポーツパーク整備事業費など総額15億2300万円です。

委員会審議等を経て7月6日採決予定です。

田中肇市議の辞職について

今般、田中肇市議が病氣療養のため、やむなく議員辞職致しました。

今後は二人で力あわせて、市民のみなさまの願い実現のため奮闘する決意です。

これまでお寄せいただきましたご支援に感謝申し上げますと共に、引き続きご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。

日本共産党松江市議会議員団
 団長 舟木 健治
 幹事長 たちばな ふみ

と決意して作られた日本国憲法。九条で「戦争しない、戦力をもたない、交戦権も認めない」と決められたのです。

女学校の一年生で、外の作



西尾さんの制作したタペストリー 今年の新作と、戦後50周年の作品

業に動員されていた同級生は原爆に焼かれ全員死亡。生き残った私は「命を失った人々へのつぐないは憲法を守る」と心に決め、慰霊碑の前で涙がとまりませんでした。

あれから戦争で人を殺すことも殺されることもなく77年が過ぎました。

ところが今、日本政府は危機に乗じて憲法を変え戦争する国にして軍事一辺倒ですすめようとしています。日本が攻撃されなくてもアメリカに協力して戦争にまきこまれるかも知れない。今、日本でしなければならぬことは、憲法守れ、戦争はダメ、核兵器使わせない、国民の中に大きな与論をつくり政治を変え、これが90歳の私の思いです。

※西尾幸子さん(90)は原爆で同級生223名を亡くしました。その無念を戦後50周年にタペストリーに綴り、その後小学校などで平和の語り部活動を続けておられます。近年は若い世代が西尾さんの体験を「朗読劇」に仕立て一緒に語り継ぐと活動しています。



朗読劇「さあちゃんとヒロシマ」上演の様子